

報道資料

新型インフルエンザの流行状況について ～ 警報の解除～

平成22年2月12日

健康増進課
松山 志村
(3223) (3224)

インフルエンザの流行状況として、2月1日～7日の週の1定点当たり患者報告数が3.25となり、県内各保健所別の1定点当たり患者報告数も、国の定める警報解除の基準値10を下回りました。

これに伴い、奈良県が12月3日に発令した警報(30.95)を解除します。
なお、新型インフルエンザの流行は続いており、今後も注意が必要です。

1. インフルエンザ流行状況

定点医療機関における患者報告数は第5週(2月1日～7日)に3.25。

(参考)

定点医療機関：人口及び医療機関の分布等を勘案し、県全体の感染症の発生状況を把握するために選定した医療機関55ヶ所

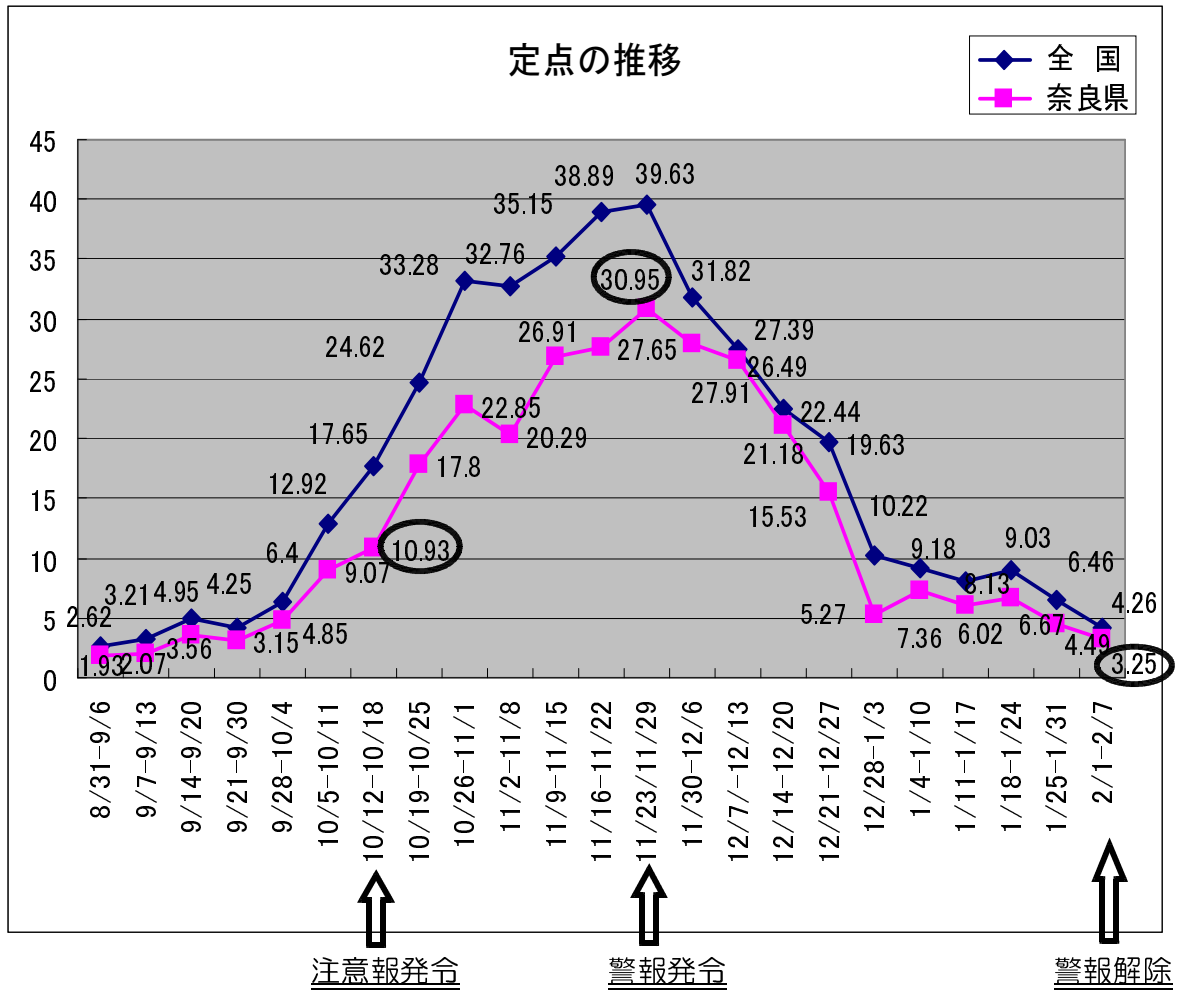
患者報告数：定点医療機関からの1週間の総患者報告数を定点数で割った数

警報の基準：1定点における患者報告数が30を超えたとき

警報解除の基準：1定点における患者報告数が10を下回ったとき

1 定点医療機関当たりの患者報告数

	第2週 (1/11-1/17)	第3週 (1/18-1/14)	第4週 (1/25-1/31)	第5週 (2/1-2/7)
全国	8.13	9.03	6.46	4.26
奈良県	6.02	6.67	4.49	3.25
内 訳	奈良市	4.45	5.18	4.27
	郡山	4.56	5.00	3.94
	桜井	6.55	5.36	4.55
	葛城	7.82	12.27	5.55
	吉野	10.67	10.67	3.67
	内吉野	2.00	4.00	1.67



2. 県民のみなさんへ

現在、新型インフルエンザの患者数は減少傾向にはあるものの、未だ流行は続いており、今後も注意が必要です。県内においても、推計ですが、先週1週間で1600人程の患者が新型インフルエンザで医療機関を受診されました。引き続き、「手洗い・うがい」「咳エチケット」などの感染予防に努めてください。

また、厚生労働省が平成22年2月9日に発表した、死亡者の年齢別内訳（下記別表）によると40歳以上の方の死亡例が死亡者全体の69%（131人/192人）を占めています。

現在、優先接種者や健康成人の新型インフルエンザワクチン接種を実施しています。万一感染した場合の重症化防止のため、ワクチン接種を受けましょう。

（参考）

死亡者の年齢別内訳（平成22年2月9日時点 累計192人）

	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
死亡者 (うち入院外患者)	3人 (1人)	17人 (5人)	12人 (3人)	5人 (1人)	3人 (1人)	8人 (3人)	13人 (3人)	30人 (4人)	31人 (4人)	25人 (0人)	23人 (0人)	22人 (1人)	192人 (26人)
基礎疾患を有する者 (うち入院外患者)	1人 (0人)	3人 (0人)	4人 (1人)	4人 (1人)	1人 (0人)	3人 (1人)	8人 (2人)	21人 (3人)	23人 (2人)	25人 (0人)	21人 (0人)	22人 (1人)	136人 (11人)